

第3学年「食育」学習指導案

授業者 足立 愛美

2月21日（木） 3階D室 9：00～9：40 話し合い（協議会） 10：00～11：45

1 題材名 食べるってどういうこと？ ―話してみよう、きゅう食のふしぎ―

2 題材について

給食時間に3年生の教室に行くと、「これがおいしかった。」「おかわりしたよ！」と前向きな感想を聞くことができる。そこで少し足を止めて子どもたちと話していると、「今度コーヒー牛乳を出してほしい。」などというリクエストに混じって「なんで毎日牛乳なの？」というつぶやきもある。

学校全体で開発研究に取り組んできたこの4年間、他の教員の「てつがく」の授業や、“てつがくすること”を意識した教科の実践を参観するなかで、子どもの声に耳を傾けてじっくり考えることの大切さを改めて感じるようになった。同時に、自分が子どもたちに一方的に伝えがちだったということにも気づかされた。

食事に対する考え方は家庭によるところが大きく、様々な価値観がある。子どもたちには小学校6年間で食に関わる経験を重ねるなかで様々な価値観に出会い、食を多様な視点で見つめられるようになってほしい。そのためには栄養教諭として専門的な知識を伝えるだけでなく、子どもたちが今疑問に思っていることや、当たり前だと思っていることに立ち止まってじっくり話し合う機会をつくることも心がけたい。それによって「食べる」ということを自分事としてとらえ、食との関わり方を考え続ける姿にもつながっていくだろう。

そこで、今回は子どもたちが給食に関して不思議に思うことを取り上げ、話し合うことを試みる。給食という共通の経験をベースにして友達や栄養教諭の考えに触れることで、今まで気づかなかった事実や食についても多様な考えがあることに気づかせたい。「牛乳の代わりにジュースは出ないのかな。」「なぜいつもちがうメニューがでるの。」「なぜ給食着を着るのか。」子どもたちの素朴な疑問には、食事の栄養面や衛生面、食の価値観など様々な要因が隠れている。身近なことに問いをもち、学級の仲間と話し合うことを積み重ねてきた子どもたち。栄養教諭としては、食を楽しむ大人として関わりながら、子どもたちが新たな視点をもつことを支援したい。

3 学習指導計画（2時間目／全2時間）

第1次 給食に関して不思議に思っていることを出し合い、みんなで話し合いたい問いを決める。

…1時間

第2次 前時に決めた問いで話し合う。…本時

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

考えをききあうことを通して、普段の給食について新たな発見をしたり、自分なりに考えたりする。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 話し合う内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例を提示し、机上の空論にならないように留意する。 ・栄養教諭も対話に加わり、必要に応じて専門的な内容も伝えていく。
2 問いについて話し合う。	
3 話し合いを受けて考えたことを書く。	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

- ・考えをききあうことが、食育の学びにつながっていたか。
- ・本時における栄養教諭の関わりについて。